

グラントパーテーション®シリーズ

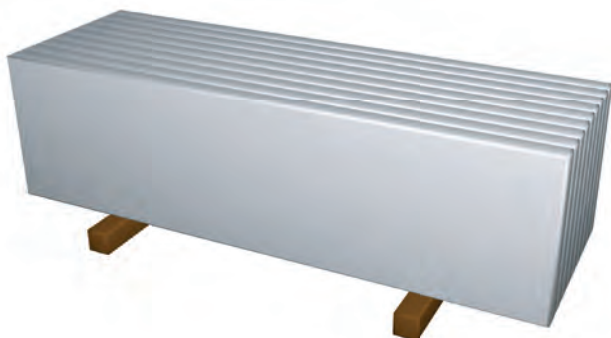
Fencewall Flat

フェンスウォール® フラット

取扱説明書

1. 輸送・保管時の注意事項
2. 施工方法
3. 施工図
 - 土圧が掛からない場合（柵板仕様）
 - 1 スパン＝2メートルの場合
 - 1 スパン＝1メートルの場合
 - 土留めとして使用する場合（土圧板仕様）
 - 1 スパン＝2メートルの場合
 - 1 スパン＝1メートルの場合
4. 組立図寸法表
5. 根固めコンクリート寸法表
6. 土留め施工について
7. 注意事項
8. 製品について

1. 輸送・保管時の注意事項



【図1 良い例】



図2 悪い例
(角材が無い場合でも割れます)

- ※ 柵板・土圧板の輸送・保管の際は必ず **立てた状態** (※図1) にして下さい。
- ※ カド欠け防止の為、図の様に角材を入れる。
- ※ 輸送時、図1の状態のまま動かないよう、ロープ等でトラックの荷台に固定する。
- ※ 保管時、図1の状態のまま倒れないよう、ロープで巻く等の措置をとる。

2. 施工方法

施工手順は以下の通りにおこなってください



3. 施工図

土圧が掛からない場合

柵板仕様 1 スパン= 2 メートルの場合



柵板仕様 1 スパン= 1 メートルの場合



- ※ 柱と柵板の空隙は 7.5mm
- ※ 柵板と柵板の目地は 5mm
- ※ 2メートルスパンの施工をする時は柵板の入る箇所の長さは 1895mm
- ※ 1メートルスパンの施工をする時は柵板の入る箇所の長さは 895mm
- ※ それ以外のスパンを施工する時は
柵板が入る箇所の長さ - 15mm に柵板をカットして下さい。
- ※ 土留めとして施工する場合は土圧板を使用して下さい。

土留めとして使用する場合

土圧板仕様 1 スパン= 2 メートルの場合



土圧板仕様 1 スパン= 1 メートルの場合



- ※ 柱と柵板の空隙は 7.5mm
- ※ 柵板と柵板の目地は 5mm
- ※ 2メートルスパンの施工をする時は柵板の入る箇所の長さは 1895mm
- ※ 1メートルスパンの施工をする時は柵板の入る箇所の長さは 895mm
- ※ それ以外のスパンを施工する時は
柵板が入る箇所の長さ - 15mm に柵板をカットして下さい。
- ※ 土留めとして施工する場合は土圧板を使用して下さい。

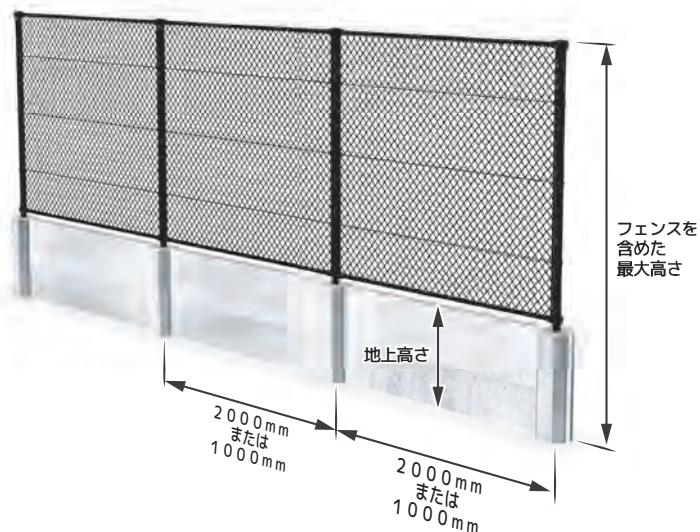
4. 組立図寸法表

柱の種類	地上高さ	柱の地中埋込	柱の全長	柵板枚数
1番柱	300mm	500mm	800mm	1枚(1段)
2番柱	700mm	500mm	1200mm	2枚(2段)
3番柱	1100mm	500mm	1600mm	3枚(3段)

- ※ 柵板と柵板の目地は5mmとする。
- ※ 土留め施工の場合は必ず「土圧板」を使用して下さい。
- ※ 1スパンが2m・1mではない場合は柵板を切り詰めてご使用下さい。
- ※ 切り詰める場合の寸法は「フラット」と「ワイド」で異なります。
取扱説明書をよくご覧下さい。

種類	フェンスを含めた最大高さ(全高)
フラット	～2000mmまで

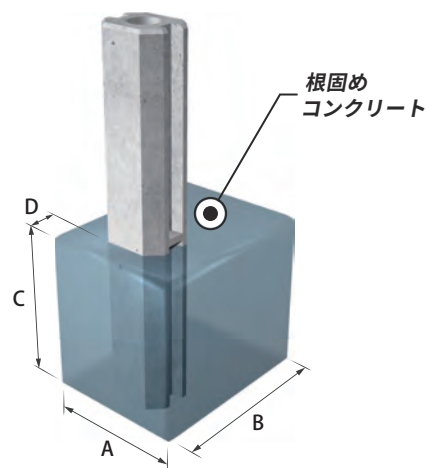
- ※ 根固めコンクリート寸法を順守する事。



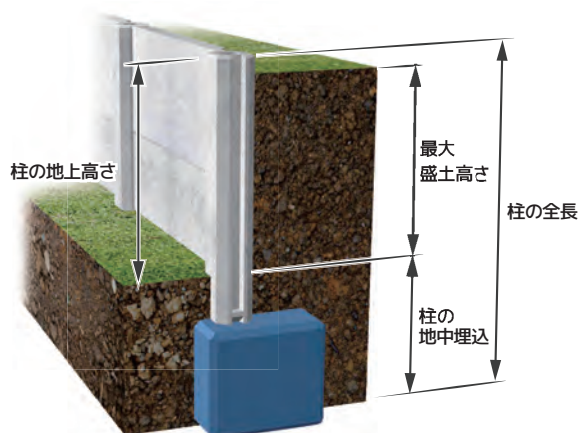
5. 根固めコンクリート寸法表

全高(フェンスを含めた最大高さ)	A	B	C	D
～2000mm	310mm～	400mm～	350mm	50mm

- ※ 全高とは上部に設置するフェンスを含めた最大高さです。
- ※ 3番柱での土留め施工の場合は寸法が変わります、
詳しくはお問い合わせ下さい。



6. 土留め施工について



柱の種類	柱の全長	柱の地上高さ	最大盛土高さ	柱の地中埋込
1番柱	800mm	300mm	300mm	500mm
2番柱	1200mm	700mm	600mm	500mm
3番柱	1600mm	1100mm	1000mm	500mm



- ※ 盛土側は写真の通り、土圧板の凸側です。
- ※ 施工後、盛土側に過度な加重(重機転圧・車両走行)を加えないで下さい。
- ※ 土留め施工の場合は必ず「土圧板」を使用して下さい。
- ※ より強固な土留め施工をする場合は1スパンを1メートルにして下さい。
- ※ あくまで目安となります。

7. 注意事項

- ① 運搬・仮置きの際、**横置きは厳禁**です。
最後の一枚まで必ず**立てた状態**にして下さい。



- ② 持って移動する際、**横持ち**はしないで下さい。
必ず**立てた状態**で運んで下さい。



- ③ 施工直後に**過度な転圧**はしないで下さい。
土留めとして施工した場合、柱や柵板周辺に対してランマーやプレートなど転圧機は使用しないで下さい。
- ④ 汚れた手袋での製品の取り扱いはしないで下さい。
製品にさわる時は必ず綺麗な手袋に取り替えてから作業して下さい。
- ⑤ 製品に汚れが付いた場合は水洗いして下さい。又、それでも落ちない場合コンクリート専用の洗浄剤を使用して下さい。（当社に在庫あり）
- ⑥ フェンス支柱穴にフェンス柱を固定する時、通常はモルタルを使用します、急結材などの混和剤を使用する場合はご注意下さい。
膨張してフェンスウォール自体が破損する場合があります。

8. 製品について

フェンスウォール用柵板・土圧板にて横方向に走るクラック（右図赤部分）が発生している製品がありますが、製造過程において出来てしまう沈下クラックです。
製品不良ではありませんのでご了承下さい。

